

草津警察署協議会議事録

開催日時	令和8年2月24日（火）午後3時30分～午後5時10分	
開催場所	草津警察署 5階大会議室	
出席者	委員	小林正彦委員（会長）、宇野良彦委員（副会長）、石光堅太郎委員、勝山圓昭委員、中村太亮委員、菱田由紀子委員、平島英子委員、山本陽子委員
	警察	羽田署長、影山副署長、近藤地域官、永田刑事官、川村調査官（会計課長）、木林調査官（警務課長）、中野調査官（交通第一課長）、中村留置管理課長、中嶋地域第二課長、永井刑事第一課長、横山刑事第二課長、小島交通第二課長、山本警備課長
議事概要	<p>1 会長挨拶</p> <p>会長から「全国的に見ても交通事故を始めとする地域の安全を取り巻く環境は楽観視できるものではない。1件でも事故を減らすためには、警察の取組を始め、地域全体の意識作りがますます重要になると感じている。本日の展示訓練等、現場の取組を直接拝見しながら理解を深め、提言につなげていければと思っている。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>2 署長挨拶</p> <p>署長から「早いもので今年度最後の協議会となり、たくさんの御意見をいただいた。今後も、協議会での御意見を管内における安全・安心の更なる向上につなげるよう頑張りたい。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 管内の交通情勢等について</p> <p>警察から県内及び管内の交通事故発生状況、交通事故抑止対策等について説明がなされ、交通取締りの重要性について庁舎裏駐車場において説明し、白バイ展示訓練を行い、委員が視察した。</p> <p>委員から「自転車運転中の事故について説明があったが、対象者は若年者が多いのか。」旨の質問がなされ、警察から「高齢者の方もおられるが、大多数は通学時間帯の中・高校生が事故に遭うことが多い。」旨の説明がなされ、委員から「新学期の4月から事故が増えるとの認識が強いので、学校等からも啓発されるよう訴えかけをしていただきたい。」旨の提言がなされた。</p>	

また、委員から「自転車の違反に青切符が導入されるということだが、基本的に歩道を走ってはいけない等の自転車のルールが浸透ができていないような気がする。今後、様々な問題が出てくるのではないか。」旨の質問がなされ、警察から「反則通告制度上の切符をすぐに適用して検挙するのではなく、まずは指導警告というところに対応することになり、検挙する場合は、事故を起こす危険が高く、悪質な行為ということになる。」旨の説明がなされたところ、委員から「私も自転車のルールが全然わかっていないので、例えば何か自転車のルール動画みたいなものを、ホームページ等に載せて、誰でも見たい時に見られるようなシステムがあればいいと思う。」旨の提言がなされた。

また、委員から「死亡事故では歩行中の高齢者の件数が増えていると聞いたが、どのように対策しているのか。」旨の質問があり、警察から「運転する車両側だけの対策ではなく、高齢者対象の安全教室等で、道路横断時に斜め横断しない、夜道での服装は明るくする等、具体的な注意喚起を行っている。」旨の説明がなされた。

副会長から「本日は交通事故情勢として、県全体と管内の情勢を比較して教示していただいた。一般の犯罪はわざと犯罪を起こすのがほとんどだと思うが、交通事故は被害者と加害者が紙一重という特殊性があると感じている。加害者にも被害者にもならない、自分を守ることが他人を守ることになるという啓発活動を行い、大人が率先して見本を示し、交通ルールを子供のころから理解させるよう協議会としても引き続き取り組んでいきたい。」旨の総括がなされた。

## (2) 次回協議会の日程等について

次回協議会は6月に開催し、協議テーマについては、事務局と調整し会長一任で決定することとした。